

個性が輝く
おんな & おとこ
まちが輝く

とっぎゃざー

みんな 仲良く 一緒に

2013.2.第8号



八女市男女共同参画の実現に向けて

情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。



あきら
川上 顕さん

保育士は以前「保母さん」と呼ばれ、女性だけで占められていました。しかし、1990年代からは男性（保父さん）も登場するようになり、1999年には児童福祉法施行令が改正されて、「保育士」という男女区別のない資格名となりました。男性保育士の数は、少しずつではありますが着実に増えてきています。とはいえ、まだまだ少数派です。そんな男性保育士にとって、職場環境はどのようなのでしょうか。私立松原保育園（筑後市）で保育士として仕事をされて13年目の川上さん（八女市在住）にお話を伺いました。



取材日 2012年10月15日



Q 保育士になろうと思われた動機を教えてください。

A 高校に入學した時は、看護師を目指していましたが、児童福祉を学んだことがきっかけで、三年生の時には保育士になりたいと思うようになりました。

Q 男性保育士の利点、また困ったことはありませんか。

A 園児を二人同時に抱っこしたり、ダイナミックな遊び方ができることは男性保育士ならではだと思います。また、女性には困難な力仕事ができるというのも利点だと思います。

困ったことは、〇歳児～一歳児に、顔を見て泣かれたり、なかなか慣れてくれないということがあります。（笑）

Q 男女を問わず、色々な年代の保育士がいると、園児の情操面で理想的な気がするのですが。



A 子育て経験のあるベテラン保育士は知識も経験も豊富で、病気などの対応も的確で、見習うところが多くあります。また、若い保育士は、フレッシュさがあり、学んできた新しい知識を発揮してくれるので、教えられることもあります。

Q 園児に、「男のめいめい、女のめいめい」という教え方はされますか。

A していないですね。それぞれの個性を大事にしたいと考えています。

Q 女性が多い職場に男性が入るのは、ハードルが高い様な気がするのですが、職場で不自由な面はないですか。例えばトイレや着替える場所とか。又、周囲の反応はどうですか。

A この保育園に入った時は、男性保育士は僕一人でした。実習先も男は僕だけだったので、これから先も男性一人だろうと覚悟はしていました。女性保育士が近くにいると、トイレも着替えも特別に意識することなく普通にしています。慣れたと思います。短大一年の時の実習が、この保育園でしたが、とてもいい雰囲気、実習が楽しかったです。それに、女性の職場という意識が僕の中にはなかったですね。

保護者には初め驚かれ、戸惑われた感がありました。一年目に受け持った子どもが卒園する時に、保護者の方から、子どもが園生活をとても楽しんでいてという内容の手紙をいただきました。その後は、年を追う毎に、普通に受け入れていただけるようになりました。

Q ご自身の家庭で家事や育児の分担はされていますか。

A 妻も仕事をしていますので、早く帰った方が、食事の支度をするようにしています。僕の父が料理をしていたので、男性が料理することに違和感はありません。自営業だった両親に、中学・高校の頃から昼の弁当を作って仕事場に届けていました。

取材を終えて

取材の質問に迷いなく答えられ、信念を持って保育士の仕事をされていると感じました。川上さん自身も二人のお子様を持つお父さん。園児と接する時のやさしい笑顔が印象的でした。



Q 保育士として目指していることを教えてください。

A 子どもの「したい気持ち」を大事にし、「したくても出来ない」を応援して、出来たときの喜びを感じさせてあげたいです。出来た時の子どもの笑顔が嬉しいし、やりがいを感じます。



八女市働く婦人の家の利用者友の会には21のグループがあり、ダンディクラブはその中の一つです。

男の料理講座が約15年前に開講され、今のメンバー（18名）になった3年前から、ダンディクラブの名前で、年に3回料理講座を開かれています。また、講座以外に年に3回ほど自主的に集まり、料理を作られています。

とても手際が良く、お喋りをしながら楽しそうに料理をされていて、エプロン姿がとてもチャームな皆様でした。

ダンディクラブ（立花町）



取材日 2012年11月19日

この日の献立

なめ茸とツナの炊き込みご飯
肉じゃが、焼き魚、
ワカメと豆腐の味噌汁

★ レシピ ★

「なめ茸とツナの炊き込みご飯」

【材 料】 4人分
・米 3合 ・ツナ缶 小1缶
・なめ茸（瓶入り） 小1瓶

【作り方】 米を研ぎ分量の水を入れ、その中になめ茸とツナを入れて普通に炊飯する。

Q 料理を作り始められたきっかけは？

A ①酒の肴を作ろうと思ったから。
②仲間づくりです。
③妻の手助けです。

Q ご家庭でも料理をされていますか？

A ①夕飯を週に3回ほど作ります。
②毎日味噌汁を作ります。
③魚をさばくのは私の担当です。



Q 料理をされるようになって、ご自身、変化がありましたか？

A ①おいしいものをすぐ食べられる。
②後片付けをするようになりました。全然苦になりません。朝、昼、晩メニューを考え料理する妻の大変さがわかりました。料理以外でも妻の手助けをするようになりました。

Q ご家族の反応はいかがですか？

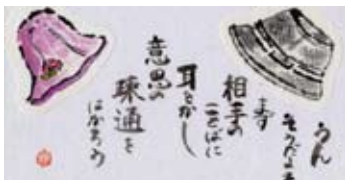
A イワシの甘露煮が大評判だったので、地域のサロンがあった時、作って持っていきました。妻が真似して作りましたが、真っ黒に焦げてしまい、その時は、ちょっと自慢でした。



今後も講座は続くそうです。おいしい料理で周りの人を幸せな笑顔にして下さい。



優秀賞
金納壮見さん



最優秀賞
川口仲代さん



優秀賞
金納理乃さん



優秀賞
古賀キヨ子さん

「あなたと私の男女共同参画写真・絵手紙」
平成24年6月に作品を募集いたしましたところ、たくさん応募ありがとうございました。入賞作品の一部をご紹介します。



買った物

車に入れて留守を待つ

(高価な買い物をした妻)

好物を

内緒で買って一人食い

(人の分まで食べ尽くす夫の妻)

男と女の川柳

真夜中に

音量下げて録画観る

(テレビを独占する夫の妻)



「遅くなる」

夫の背中にガッツポーズ

(のんびりできる妻)



あれ、それが

いまだ通じぬ還暦夫妻

(もどかしい夫)



「いつてらっしゃい」

見送る声は布団から

(朝食抜きの夫)

妻不在

レンジでチンし侘し飯

(趣味が多い妻の夫)

「男と女の川柳」「男の言い分、女の言い分」等々、皆様からの投稿を、随時募集しています。

とうぎざー編集部『こらぼれーと』まで、郵送・FAXでお寄せ下さい。

お問い合わせ先、郵便・FAX 送付先

八女市男女共同参画推進係

〒834-8585 八女市本町647
電話 23-1314 FAX 22-2186



.....ひとりで悩んでいませんか？.....

配偶者や恋人からの暴力、職場での性的嫌がらせ、性別を理由とした差別などに関する相談を専門の相談員が受けています。秘密厳守ですので、安心してご相談ください。



♡相談日：毎月第2木曜日（要予約）

♡会場：市役所内の会議室

♡申込、問合せ

八女市役所 男女共同参画・生涯学習課
男女共同参画推進係 (☎23-1314)



編集後記



イクメン（育児を積極的に行う男性）や、イクシイ（孫育てに積極的なおじいちゃん）と呼ばれる男性が増えました。

保育現場でも男性保育士が働いている施設が増えつつあります。しかし今なお、子育ては女性の仕事という風潮がある中で、男性保育士の存在はまだ珍しいと思います。

子育てを共同で行う男性達が特別な存在ではなく、当たり前になるためには色々な条件整備が必要だと思えます。

みんなでどんな応援ができるのか一緒に考えたいものです。

こらぼれーと

N・E

